

10月9日(水) 朝礼のお話

バングラデシュという国

2学期からけやき小学校に、バングラデシュのお友達が転校してくれました。バングラデシュという国の名前は聞いたことがある人も多いと思いますが、どんな国なのでしょう？今日はバングラデシュという国についてお話ししてみたいと思います。

まずこの国の正しい名前は「バングラデシュ人民共和国」です。この「バングラデシュ」という国の名前の前の方、「バングラ」とはバングラデシュに住んでいる人、「ベンガル人」を表しています。後ろの方、「デシュ」は「国」を表す言葉です。だからバングラデシュという名前は「ベンガル人の国」という意味だそうです。

バングラデシュがあるのは日本からずっと西の方、インドの東側です。面積は日本の半分より少し小さいくらい、でも人口、人の数は日本よりもかなり多い1億6000万人以上です。今でも人口が増えているそうで、とても活気のある国です。

バングラデシュは日本から遠く離れている国ですが、実は私たちの国日本ととても結びつきがある国です。

まずバングラデシュの国旗です。見てすぐにわかるように、日本の国旗ととてもよく似ていますね。バングラデシュは1971年にできた新しい国ですが、国ができて国旗を決める時に日本の国旗を参考にしたともいわれています。この国旗の赤い丸は「昇る太陽」を表し、緑は「豊かな大地」を表しているそうです。旗のとおり、バングラデシュはとても緑豊かな国です。

次は食べ物です。バングラデシュは「米と魚の国」と言われています。バングラデシュの人の主食は日本人と同じように、ご飯、つまりお米です。そしてお魚をたくさん食べることも似ていますが、日本とちがって海があまりありませんから魚といっても川でとれる魚が中心です。

そして、次は日本とバングラデシュの関係です。日本はバングラデシュという国ができた時からとても仲良くしてきました。そして今では仲良くしているだけではなく、色々なお仕事、産業でも日本とバングラデシュはとても大切なパートナーです。バングラデシュは世界でも第4位に入るくらいお米をたくさん作っている農業国でしたが、今は農業だけでなく色々な産業も発展しています。もっとも力があるのは洋服を作る産業です。バングラデシュは今では世界で第2位の洋服の輸出国になっています。日本の有名な洋服会社の工場もたくさんバングラデシュにあります。皆さんが今着ている洋服にもバングラデシュで作られたものがあるかもしれませんよ。

今日は日本から遠いけど、とても結びつきの強い国、バングラデシュのお話をしました。今日も最後まで一生懸命聴いてくれてありがとう。今日のお話を終わります。